

2022
9/25
〈日〉

(13時15分開場)

14時00分開演

京都芸術劇場 春秋座

(京都芸術大学内)

無料・指定席 ※先着順

往復はがきにてお申込み下さい

猿翁 アーカイブにみる

三代目 市川猿之助の世界

第七回
フォーラム

人柄

三代目市川猿之助(二代目猿翁)さんから京都芸術大学に寄贈いただいた貴重な歌舞伎関係資料をもとに、三代目猿之助の軌跡をたどるフォーラムの7回目。今回は〈人柄〉をテーマに、三代目猿之助の人柄をよく知るお二人のゲストが登場します。

第一部

心やさしき気くばりの人

石川耕士(脚本家、演出家)

第二部

三代目猿之助と私

市川笑三郎(歌舞伎役者)



芸は人なり 田口章子 (企画 / 京都芸術大学教授)

近年の歌舞伎の世界は、大幹部クラスの傘下に入らないと役が付きにくい、という風潮がある。その人のことを真に尊敬し、心服して傘下に入るのならいい。しかし私は、「寄らば大樹の蔭」的な生き方は好まなかった。権力志向だけでゴマをすったりすることを私は潔しとしない。大嫌いである。

1963年、23歳で祖父初代猿翁と父三代目段四郎を相次いで失った三代目猿之助が示した歌舞伎役者としての矜持である。

独立独歩の生き方を選んだ猿之助は、派閥から外れたことで周囲からの風当たりは強くなり、まさに劇界の孤児となった。悲壮感は全くなかったという。それどころか、のちの猿之助歌舞伎の母胎となる自主公演「春秋会」を旗揚げし、自分で芝居づくりをはじめ。藤間勘十郎(勘祖)、観世栄夫、戸部銀作、藤間紫という劇界の理解者を得て公演した舞台は、観客から多くの支持を集めた。

「芸は人なり」という。芸には役者の人格が反映する。芸は役者の人生を写し、生き方をあきらかにする。今回は「人柄」をテーマに猿之助歌舞伎の魅力をもひも解いていく。

三代目市川猿之助 (二代目市川猿翁)



1939年(昭和14)生まれ。つねに「時代とともに生きる歌舞伎」をめざし、伝統の継承と創造に全身全霊をかけて走り続けている。「猿翁十種」をはじめとする家の芸の継承はもとより、『義経千本桜』『加賀見山再岩藤』などの古典歌舞伎の再創造、『菊宴月白浪』『競伊勢物語』などの古劇の復活、さらには『ヤマトタケル』や『新・三国志』シリーズなどのスーパー歌舞伎の創造まで、パワフルな活動はみごとな芸術的完成を見せる。現代歌舞伎に多彩で豊富な成果をもたらしてきた演劇活動の中から「三代猿之助四十八撰」を制定した。歌舞伎にかける熱い思いと革新的な発想は、三代目市川猿之助が育てた弟子たちにも確実に受け継がれている。平成24年新橋演舞場において、祖父が名乗った猿翁の名を二代目として襲名し、甥の市川亀治郎に猿之助の名を譲った。京都芸術大学では、平成5年に芸術学部教授、平成12年～17年副学長に就任。集中講義では学生に歌舞伎の実技実演指導も行なった。同大の春秋座には徳山詳直前理事長とともに劇場の構想・設計から関わる。初代芸術監督として、柿落し公演の『日本振袖始』はじめ、数々の舞台を企画し出演した。

お申し込み方法

入場無料(全席指定)

右記をご参照いただき必要事項を全てご記入の上、**往復はがき**にてお申し込みください。

先着順・定員 600名

2022年7月11日(月)受付開始(定員に達し次第締め切ります)

[結果通知]

受付完了後、返信ハガキを随時お送りいたします。座席番号をご確認ください。**返信ハガキが入場証となり、入場時にご提示いただきますので、必ずご持参ください。**返信ハガキをお持ちでない場合、入場をお断りする事がございます。予めご了承ください。

〈往信表面〉〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116
京都芸術大学 舞台芸術研究センター
「猿翁アーカイブ・フォーラム」係宛

〈往信裏面〉①代表者ご氏名

(劇場友の会の方は会員番号もご記入ください)

②ご住所(郵便番号含む)

③お電話番号(日中の連絡が可能なもの)

④ご同伴者有の場合:ご同伴者氏名(1名様まで)

*車椅子をご利用のお客様、足の不自由なお客様はその旨お書きください。

〈返信表面〉代表者のご住所、ご氏名をご記入ください。

〈返信裏面〉白紙

猿翁アーカイブプロジェクト 寄付のお願い

京都芸術大学では、二代目市川猿翁氏から寄贈いただいた貴重な資料を後世に残すため、多くの方々からご支援をいただき、資料のデジタル化処理(現在、公演等映像 2,871本、舞台等写真 59,232枚)をすすめ、本フォーラム等にて活用してまいりました。今後、残る資料のさらなるデジタル化処理、寄贈資料の活用を目指しており、フォーラム当日に会場にて寄付を募っております。皆様のご協力を何卒宜しくお願いいたします。



[お問合せ] 京都芸術劇場チケットセンター

TEL.075-791-8240 (平日 10時~17時)

映像担当: 京都芸術大学広報課・倉田修次

協力: 松竹株式会社、公益社団法人日本俳優協会、株式会社キノシ・オフィス

主催: 京都芸術大学舞台芸術研究センター

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116 TEL.075-791-9437



●JR・近鉄「京都」駅、京阪「三条」駅、阪急「京都河原町」駅から京都市バス5系統「岩倉」行きに乗り、「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車(「京都」駅から約50分、「三条」・「京都河原町」駅から約30分)

●京都市営地下鉄「丸太町」・「北大路」駅(北大路駅バスターミナル)から京都市バス204系統循環「高野・銀閣寺」行きに乗り、「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車(約15分)

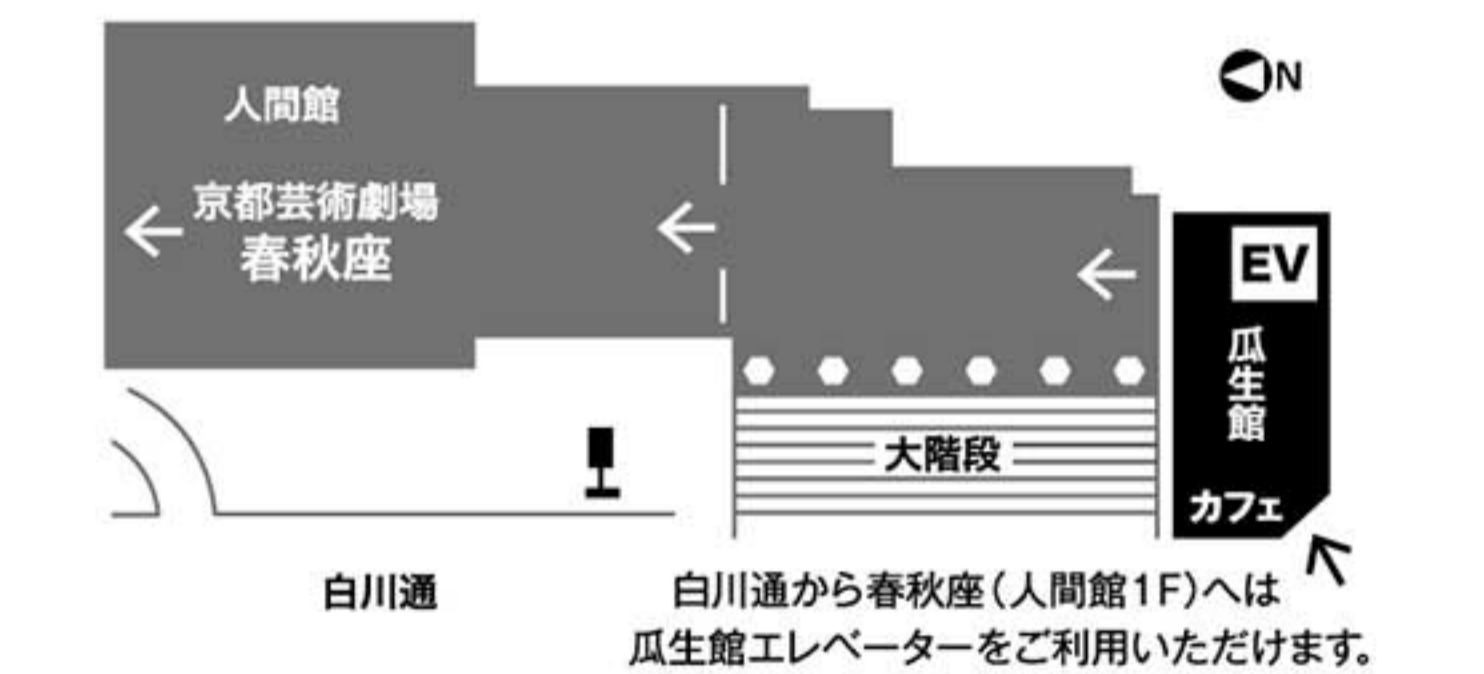
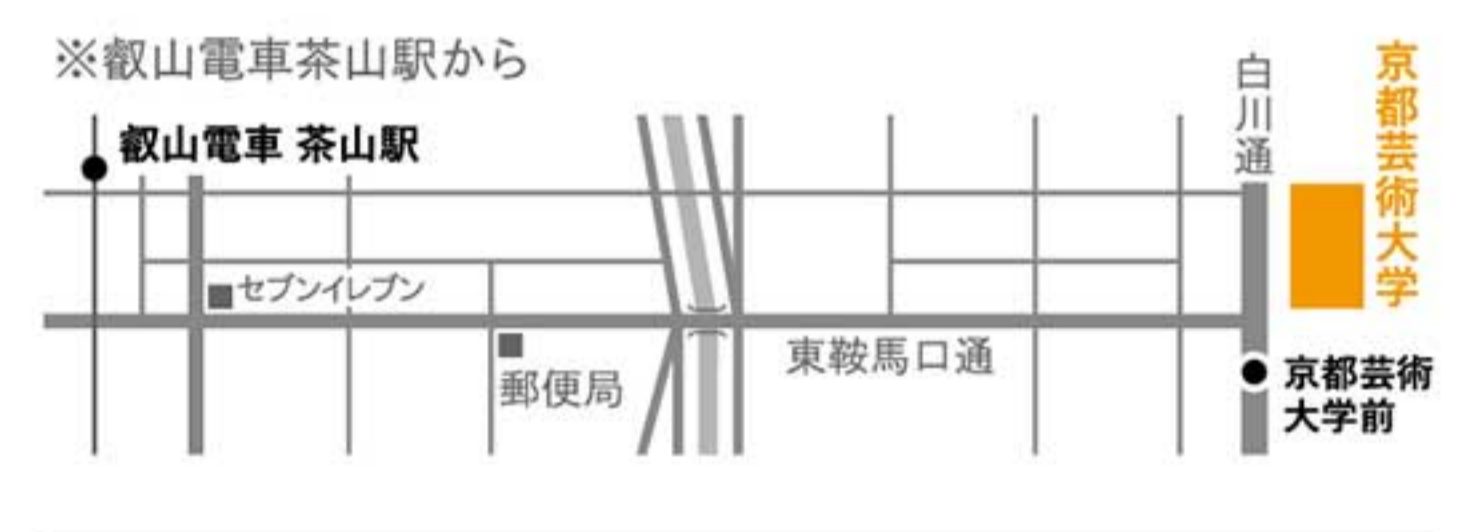
●京阪電車「出町柳」駅から叡山電車に乗り換え、「茶山」駅下車、徒歩約10分

●タクシーご利用の場合、「京都」駅から約30分。地下鉄「今出川」駅から約15分(「京都」~「今出川」は地下鉄で約10分)。

※所要時間はあくまで参考としての標準時間です。

天候や交通事情により変わりますのでご注意ください。

※駐車場はございませんので、お車・バイクでのご来場はご遠慮ください。



感染対策へのご協力をお願いいたします



手洗い・消毒、マスク着用 など



当劇場の
感染症対策



政府などのガイドラインに基づき、お客様に安心してご観劇いただけるよう感染拡大防止に努めております。今後の感染状況によっては対応が変更となる場合がございますので予めご了承ください。

京都芸術劇場 検索